

学校と家庭間の連絡手段を ICT 化！

教育

- ☑ 現状、家庭から学校への欠席などの連絡手段は、連絡帳や電話である。
- ☑ 学校から保護者へのアンケートを年2~3回実施しているが、学校規模によっては 集計・集約作業に時間を要するといったケースもある。
- ☑ 保護者や教員の負担軽減のため、ICT 導入による効率化を検討できないか。

質疑のポイント

令和3年1月に稼働予定の次期教育情報基盤サービスにおいて、学校からのお知らせやアンケートをインターネットによりデータで配信し、保護者はスマートフォン等でそれを受信したり、回答を入力したりすることができるシステムの導入を検討している。

また、欠席の連絡については家庭への返信方法など、他都市の動向も注視しながら保護者や教員の負担を軽減できるよう導入について検討していく、とのこと。



スポーツを通じた国際交流を促進！

スポーツ

- ☑ 東京オリンピック・パラリンピック 2020 に向けて、いくつかの団体の事前合宿地が神戸市に決定している。
- ☑ 受け入れに当たって、神戸のPRや交流事業等をもっと実施すべきでは。

質疑のポイント

オリンピック大会ではニュージーランドの競泳チームが、パラリンピックではオーストラリアパラチーム（最大 12 競技程度）が神戸に来る。ネパールのパラ水泳チームも事前合宿を行う。現在、フランス体操チームと協定の締結ができるよう調整中である。

今年の世界水選手権前に NZ の競泳チームが来神した際には、選手による泳法指導などを実施した。また、ブリスベンに子供たちを派遣し、2年連続で交流事業をするなどオーストラリアのパラチームとは既に交流を行っている。神戸に来たときに学校訪問などの交流などをやっていきたい、とのこと。



▶ 交流会で披露された「Haka」



▶ 中学生への泳法指導

仕事と子育ての両立支援拠点を拡充！

子育て・経済

- ☑ ことし5月に託児機能つきの「コワーキングスペース 078With-Kids」が新神戸駅と阪急御影駅に開設された。
- ☑ 増加傾向にあるフリーランスに向けて、仕事と子育ての両立拠点を神戸市が積極的にアピールすべきではないか。

質疑のポイント

子育てをしながら働けるというのは、神戸の子育てのイメージアップにもつながると考えている。

経済観光局等とも連携をし、女性起業家支援のネットワークを活用しながら、いろいろなセミナーの場で広報していきたい、とのこと。



▶ 078With-Kids を訪問

ごろごろ神戸 共感をよぶ広報を！

広報

- ☑ ブLOGGERの平民金子さんが独自の視点で神戸のさまざまなスポットを紹介するウェブエッセイ「ごろごろ神戸2」が人気である。
- ☑ 市の広報戦略として、こういった狙いがあるのか。

質疑のポイント

市内在住の人気BLOGGER平民金子さんに子供を乗せたベビーカーをごろごろと押しながら神戸をあちこち歩いて、まちの魅力を深掘りをして、思ったことをウェブエッセイにつづってもらった。毎回 3,000 回ぐらいの閲覧があり、タブロイド版 1,000 部販売もすぐに売り切れるなど反響がある。今年度はフリーライターで神戸に移住してきた岩崎雅美さんに執筆を依頼する。

生活者が感じた多様性のある神戸の魅力を発信する取り組みを引き続き進めていきたい、とのこと



東須磨小学校における教師間暴行について

総括質疑において、神戸市の教育全般に関する信頼を地に落としめる愚行と指摘し、2点要望しました。

1. 加害者、傍観者など関係者の事情聴取を通じ、なぜこういう事が起きたのかを徹底的に分析し、どこにでも起きうるものとして、今後における教員・職員の厳格なハラスメント対策を行うこと。
2. 一学校の問題のみで片付けるのではなく、神戸市教育全体で受け止める必要がある。全般の解明、加害者教員の処分等しっかりと説明できる段階において、すべての市立小学校において場を設定し詳細な説明を行うこと。



▶ 第2回総合教育会議を傍聴